

一般社団法人まなびのみなと事業計画(第7期 2025年4月-2026年3月)

	事業分類	事業名	事業概要	計画	担当者	協力団体
1	まなびの船頭になる	島チャレ	”やりたいことをはじめる第一歩”をテーマに、ひとり一人の「やりたいこと」を応援し、チャレンジを創出してアクションにつなげていくことを目的にした社会教育プログラム。小学生から高校生世代までを世代を対象にした多世代交流の中で、地域をおもしろがる人たちのチャレンジが 連鎖するコミュニティをつくる。	島民の全ての世代を対象にしたプログラムとして今年度も参加者を学生・社会人を合わせての場を創出している。今年度よりプログラムは全8回の講座に集まり、プロジェクト実施までをサポートする。新しく運営サポーター制度を作ること、これまでの卒業生などが継続して関わり、運営側に巻き込みきっかけづくりを行う。今年度特にプロジェクトは実現に向けて実施できるように動きはしめることを目指す。	円光	島BASE
2	まなびの船頭になる	高校生マイプロジェクト広島	認定NPO法人カタリバとパートナー契約を結び、広島県内の高校生のプロジェクト活動を支援する。年に一度の学びの祭典「全国高校生マイプロジェクトアワード広島県Summit」では、県内の高校生が一堂に集い、社会で活躍するオトナたちとの対話を通して共に未来を築く関係性を構築する機会を創出する。	認定NPO法人カタリバとパートナー契約を結び、広島県内の高校生のプロジェクト活動を支援する。年に一度の学びの祭典「全国高校生マイプロジェクトアワード広島県Summit」では、県内の高校生が一堂に集い、社会で活躍するオトナたちを想定し、社会で活躍するオトナたちとの対話を通して共に未来を築く関係性を構築する機会を創出する。年間を通して個々のイベントを実施し、プロジェクト活動のきっかけづくりや伴走支援を行う予定である。	勝瀬	認定NPO法人カタリバ 株式会社アトレ広島 広島大学スタートアップ推進部門 公益財団法人ノビアグリーン財団
3	まなびの船頭になる	大崎海星高校魅力化コーディネーター事業	大崎海星高校魅力化コーディネーター業務。担当部署が企画課から教育委員会生涯学習課へ移管されたことを受けて、小・中学校との連携を推進する。また、広島観智学園、広島商船高等との関わりも生まれていく仕組みをつくる。伴走や対話のシンポジウム、教育の島フォーラムなど、内外と連携して新しい学びの島を牽引する高校魅力化プロジェクトを目指す。	小中学校との連携に向けた授業見学15回以上、授業実施に向けた会議参加10回以上を目標とする。また広島観智学園・広島商船高等とは連携に向けた意見交換を行い、実際に生徒が関わる機会づくり校回実施目標とする。高校魅力化プロジェクトに関わる優秀な学生はヘルプアップに向けた研修(外部講師を含む)を3回程度実施する。また、生徒のプロジェクト活動の支援を行い、コンテストへの出場や外部に向けた発表の機会をつつ程度創出する。さらに、卒業生受け入れに向けた体制づくり力を入れて継続して3名程度の入学を目指す。	円光	大崎上島町教育委員会生涯学習課 大崎海星高等学校 広島観智学園 広島商船高等
4	まなびの船頭になる	食を通じたまちづくり事業	島で暮らす小学生に「地域で学び、地域を学ぶ機会」を提供することを目的に、大崎上島町の事業者と連携した食の教育プログラムを実施。さらに、大崎上島町の食文化や食育機会を島の外へと発信・提供していくことを目指し、食の観光・教育プログラムのパッケージ化や食のフォーラムの開催に取り組む。	町内の小学生に向けた食の体験プログラムを実施し、小学生と食の事業者が出会い共に学ぶ機会をつくる。また、小学生がプログラムを通じて学んだことを、町民に発信する「ポップアップレストラン」を2回開催する。さらに、卒業生受け入れのプログラムを開始する。	神田	大崎上島町
5	航路をつくる	ミカタカフェ	”誰もが誰かのミカたになれる場所”をコンセプトにカフェ併設型のコミュニティスペースを運営。地域の大人と子どもとの交流が生まれる場所、その出会いによって地域プロジェクトが生まれる 場所を目指す。	”誰もが誰かのミカたになれる場所”をコンセプトにカフェ併設型のコミュニティスペースを運営。地域の大人と子どもとの交流が生まれる場所、その出会いによって地域プロジェクトが生まれる 場所を目指す。金・土・日曜日のカフェ営業およびコミュニティスペース開放を行う。	勝瀬	公益財団法人日本財団 大崎上島町
6	航路をつくる	SCHシンポジウム西日本	地域と学校の協働について、行政・民間・学校・地域住民など多様なセクターの実践者や関心を持つ人々が集い、対話を通して、知照を交換し、互いの実践を後押しするシンポジウムを開催する。	お昼以降に開催予定。今回で最後はSCH西日本。ガスは招かず、参加者をゲストとして、交流するプログラムを行う予定。	取釜	大崎海星高等学校
7	航路をつくる	絵本図書館ひみつきち	”みんなでつくる絵本図書館”をテーマに、主に未就学児およびその保護者を対象としたコミュニティスペースを運営。種もがりのままで読める図鑑の場として、子どもたちや保護者同士のつながりの創出を目指す。	保護者のニーズを聞きながら、子ども向けイベントだけでなく、子育て中の親向けのイベントも実施する。年間30人程度の利用を継続しながら、他団体との連携イベントの実施を今年度3回目を目指すことで、受け入れの幅を広げる。	取釜・牧内	
8	航路をつくる	オンライン仕事図鑑	高校生への新しい学びをつくる一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームが実施するオンライン探索プログラムの一環として、各地域のロールモデルの事例集となる仕事図鑑のオンライン版を製作する。	・6月19日「仕事図鑑」の進め方に関する授業を実施する。 全4回のうち初回のみを担当する。 ・5月～10月「仕事図鑑制作」に関する進捗の相談および伴走支援を実施する。 月1回の打ち合わせおよびSlackでの随時コミュニケーションを行う。 ・「仕事図鑑」に関するコーディネーター向けの研修を行う。 プログラム全体をサポートするコーディネーターを対象に仕事図鑑に関する研修を実施する。	高橋	一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム
9	航路をつくる	タンキュー＆マイクラクラブ	大崎上島の子どもたち一人ひとりの夢や関心のあるテーマを一緒に探しながら、楽しくわいわい学べる探索塾です。「だれもが学び」に出会える日常を、を目標するまなびのみなが地域の人たちと一緒に島の子どもたちの可能性を引き出す場づくりを目指しています。	メインクラフトクラブは5月から9月まで月4回程度、全20回程度を実施する。参加者が個人あるいはチームでのメインクラフトカップへの応募が100を目指す。 タンキュークラブは、本年度以降の継続実施に向けた財源確保や機運醸成を行うために、イベントを年間3回実施する。	取釜・平岡	-
10	港をひらく	大学生おためしぐらし	島での「暮らす・働く」に関心がある大学生の長期滞在機会を創出する。移住促進や関係人口創出という成果追求型ではなく、あくまで大学生に向けての学びの機会と、大学のいい場にと暮らし子ども達がロールモデルと出会う機会を創出することを目的とする。	船場での暮らし・働くに関心がある大学生の長期滞在機会を創出する。移住促進や関係人口創出という成果追求型ではなく、あくまで大学生に向けての学びの機会と、大学のいい場にと暮らし子ども達がロールモデルと出会う機会を創出することを目的とする。これまでの夏季休暇期・春季休暇期間に加え、ゴールデンウィーク期間の受け入れも実施する。	勝瀬	-
11	港をひらく	清走中・大崎上島編	大人も子どもも楽しめるゴミ拾いアクティビティを通じ、ゴミ問題・海洋問題について考えるきっかけを提供するとともに、学校・職業・年齢を超えた地域住民の交流を生み出す。	大人も子どもも楽しめるゴミ拾いアクティビティを通じ、ゴミ問題・海洋問題について考えるきっかけを提供するとともに、学校・職業・年齢を超えた地域住民の交流を生み出す。今年度は10-11月期の開催を予定している。	勝瀬	株式会社Gab
12	港をひらく	ポケマルおやこ地方留学	「究極の食育」をテーマに、自然のエキスポーである全国の生産者さんのもとへ親子で訪れ、親はワークセッションで仕事をしながら、子どもは生産者さんのもとで自然について学ぶプログラム。大崎上島町の食や自然を生かし、町外への親子向けに生産者と出会う、自然に触れ合う場をつくる。	今年度は、定員充足を目指しながら実施し、来年度以降の継続実施を目指し必要な商品を購入し、必要ロジ等の体制づくり、教育プログラムづくりを行う。また、食を通じた町づくり事業や島チャレなどの別事業とのシナジー効果を検討する。	取釜	株式会社西風太陽 島内各事業者さんたち
13	港をひらく	スタディプログラム・企業研修コーディネート	大崎上島の学びの資源を活用し、スタディプログラム・企業研修コーディネートを行う。事業を通してPRすることで、「教育の島」から「学びの島」へのリブランディングを行い島内外へ発信する。	学びの資源を活用して、年際回を目標に教育プログラムを実施。大崎上島で学ぶ意義を内外に広報しながら、次年度以降の自主事業へつなげる。	取釜	新渡戸学園 一般企業等
14	その他	まなびのみなと夢基金	地域のためにアクションを起こしたいと考える学生・大人の活動に対し資金援助を行う。「まなびのみなと夢基金」を「つちかえ」を支援すること、地域・社会をより面白くしたいとプロジェクトを走らせる学生・大人のつながりの創出を目指す。	島チャレやタンキュークラブをはじめ、他事業と連動しながら、8月～10月にまなびのみなと夢基金ピッチコンテストを開催する。まなびのみなと夢基金ピッチコンテストでは、大崎上島町をフィールドに何かを起こしたい学生・大人が企画プレゼンを行い、まなびのみなとから資金援助できる活動を採択する。	神田	
15	その他	マイスター・ハイスクール事業	文部科学省の専門高校改革事業。文部科学省指定校の高校への伴走型アドバイザー業務を通じ、専門高校の改革及び産業界の改革を行う。	今年度最終年度となるため、次年度以降の継続・発展を模索する。	取釜	株式会社ソフィア